



# 目指したゴールは、エコでやさしい駅づくり。

## カーボン・ニュートラル・ステーション「摂津市」駅誕生。

太陽光発電やLED照明、ヒートポンプ式電気給湯器など、さまざまな省エネ設備の導入でCO<sub>2</sub>排出量が従来駅のほぼ半分に。さらにはCO<sub>2</sub>排出枠の購入によって、駅に起因するCO<sub>2</sub>排出量を実質的にゼロにした日本初のカーボン・ニュートラル・ステーション、それが阪急京都線の「摂津市」駅です。



ポイント  
1

### 太陽光発電

ホームの屋根の上に、太陽電池パネルを設置しています。

太陽電池パネルの設置により、一般家庭の約30軒分の電力量を削減できます。発電した直流電力を交流電力に変換し、駅舎内の諸設備に供給しています。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約25トン

ポイント  
2

### ヒートポンプ式電気給湯器

駅務室にヒートポンプ式省エネ型給湯器を採用しています。

ヒートポンプ式の導入により通常のガス給湯に比べ、エネルギー使用量を約2/3削減しています。また、ノンフロン型を採用することにより、オゾン層破壊防止にも貢献しています。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約1.6トン

ポイント  
7

### 雨水利用

下り線ホーム下に、雨水貯留槽を設置しています。

貯留した雨水を緑地への散水やトイレの洗浄用に利用しています。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約0.1トン

ポイント  
6

### 無水トイレ

無水式小便器を男性用トイレに採用しています。

通常の水洗式は小便器1回の利用で約3ℓの水が必要でしたが、無水式は水を使用していません。また、排水管等に悪臭を封じ込める仕組みを採用しています。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約0.1トン

ポイント  
3

### LED照明

ホーム、地下道、改札、待合室等には、LED照明を採用しています。

LED (Light Emitting Diode:発光ダイオード) は、電気を流すと発光する半導体のことです。LED照明は小電力で点灯するので省エネ効果が高いこと、白熱灯や蛍光灯より長寿命であることが特長です。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約9トン

# ECOな 7つの ポイント

ポイント  
5

### 省エネルギー型エレベーター

ホームと地下道間に省エネルギー型エレベーターを設置しています。

当駅のエレベーターでは、回生電力(モーター回転時に発生する電力)をバッテリーに充電し、通常電源とバッテリーの両方から効率的に電力を供給するハイブリッドタイプを使用し、使用エネルギーを約1/5削減しています。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約0.4トン



ポイント  
4

### 緑化推進

通常の植込緑化(シラカシ20株等)に加え、駅舎や下りホームに壁面緑化をしています。

年間CO<sub>2</sub>削減量/約0.1トン

